

種子島の歴史・文化・自然について。  
 テーマ:( 種子島のめんゴウの民話と現在 )  
 写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み, 説明を書く)  
 ※ 注意...単なる引き写しではなく, オリジナリティーを追究し, 面白い内容を目指すこと。

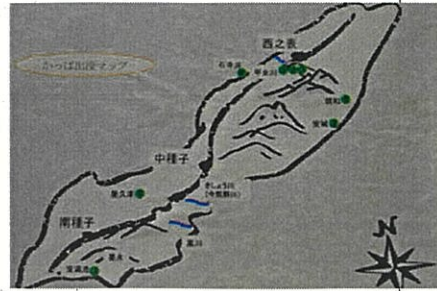


### ヌレヨクシヨウ

- \* 髪の長い美人の姿が現れる。
- \* 山道で赤ん坊を抱かせる。
- \* 山の神の化身とも言われる。

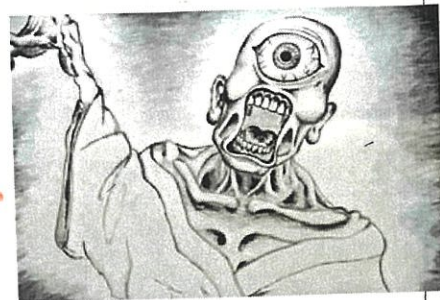
#### ＜考察＞

- ① 髪<sup>①</sup>の長い + 美人 = 身分の高い人かも知れない (説によると、殺された公家の女の霊とも言われている)
- ② 甲斐川の近くに集まっているように見える  
→ 水難事故で赤ん坊を亡くしたのかもしれない
- ③ なぜ<sup>①</sup>山道で赤ん坊を抱かせる<sup>②</sup>のか  
→ ①水難事故の悲しさから川場を土いている(?) ②子を亡くした苦しみを味わわせよう(?)



### 雄龍・雌龍の岩

(二つは「女」の表記)  
 種子島の龍と屋久島の龍!!  
 2人の龍はとてもし仲良くしたが種子屋久の仲が当時悪かったため、2人の首を切り落とし、海に捨てて見せしめにする何年か後、その場所には (なぜ種子島の海に?) 龍の形をした岩ができた。



### 目一五郎 (一五目僧に似る)

花里崎から国上野木平に行く途中のサルシの坂はめんゴウ(おばけ)が出ると言われて怖いところ。  
 ある日、林持ち(凶林持ち...凶悪な犯罪を犯かした二つのある人)が夜中に通ると、「おどろ、おどろ、おどろ、おどろ、おどろ」といって来た。

#### ＜考察＞

- ① 元犯罪者...同じ土壌で生かすために徘徊?
- ② 犯罪の被害者...病人のような毒や瘴を身に纏った。

↑  
 犯罪を犯した人をつかまえるために思いついた。

### サルシの坂



【場所】 鹿児島県西之表市上西花里崎  
 【撮影日時】 2011年 8/22 (月) 14:43  
 現在は海岸や釣りを楽しむ人も多い。この坂を上ると左の崖沿いに虫供養の石塔がある。(虫供養は、馬、牛、犬、猫、など)

(目一五郎より) 県道581号線経由で約10分

### 雄龍・雌龍の岩



(現在は「雌」の表記)



【場所】 鹿児島県熊毛郡中種子町 杣宮  
 現在は中種子島町の有名な観光地であり、この「めんゴウ」の話外でも、海に投げ出した未熟の生まれ変わりという伝説もある。  
 (左=雌龍, 右=雄龍)

※ 参考文献/出典 (著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP (サイト名, URL)  
 (例) ・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)  
 ・西之表市役所HP (http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html)

- \* ふるさと種子島「種子島のめんゴウ展」2013/09/07  
<https://www.furusato-tanegashima.net/>
- \* 種子島観光協会 <https://tanekan.jp/>

#### 評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。 B: 一通り書けている。 C: 不十分な分量・内容。